

2017年2月2日
株式会社日本政策金融公庫

第191回 信用保証利用企業動向調査結果の概要

(2016年10～12月期実績、2017年1～3月期見通し)

**[概況] 信用保証利用企業の資金繰りは、横ばい状態である
～景況は一部に弱い動きが見られるものの、持ち直しの動きが続いている～**

- 【金融関連】 ○ 資金繰りD. I. は、横ばいで推移。
 - 借入難易感D. I. は、05年10～12月期以来のプラスとなり、0.4となった。
 - 今期(16年10～12月)に借入を実施した企業の割合は、横ばい。
- 【保証利用】 ○ 今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少し、5期ぶりに50%を下回った。
 - 来期(17年1～3月)における保証利用要請D. I. は、横ばい。マイナスであった前期と同水準。
 - ※ 保証利用要請D. I. …金融機関による保証利用要請が「強くなると思う」企業の割合－「弱くなると思う」企業の割合。
- 【生産等】 ○ 生産・売上げD. I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲9.5となった。
 - 採算D. I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲10.3となった。

<調査の要領> 調査時点 2016年12月中旬
 調査対象 9地域(北海道、宮城、東京、愛知、石川、大阪、広島、香川、福岡)の信用保証協会利用先
 16,000企業を対象としており、**回答企業の約74%が従業員20人以下の小規模企業**となっています。
 有効回答企業数 3,425企業
 回答率 21.4%

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 中小企業事業本部 保険企画部 Tel:03-3270-2384(担当:中村、宮本、野口)
 〒100-0004 東京都千代田区大手町1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー

本資料は日本銀行内金融記者クラブ、経済産業記者会に同時配布しております。

(1) 資金繰り

・資金繰りD. I. は、横ばいで推移。

		2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12	2017/1-3
資金繰りD.I.	実績	▲ 10.4	▲ 13.3	▲ 12.0	▲ 10.0	▲ 9.1	
	見通し	▲ 9.9	▲ 6.4	▲ 9.3	▲ 10.1	▲ 6.1	▲ 4.6

(注) 前期比。資金繰りD.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。

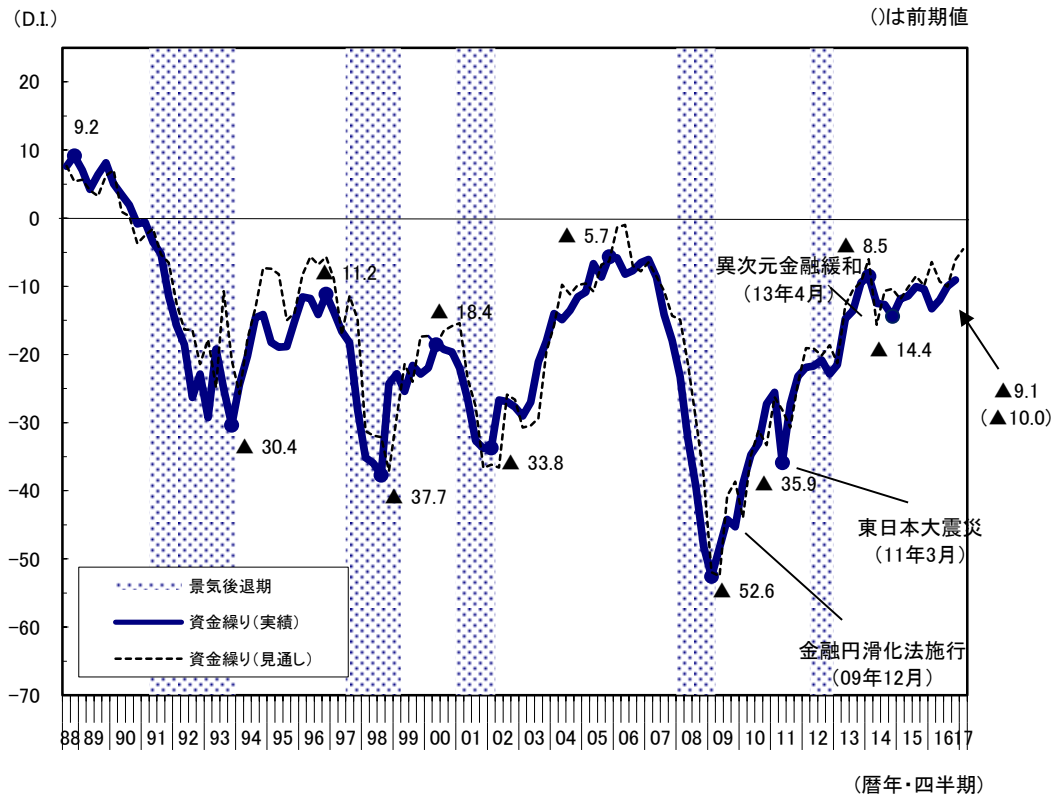
(2) 借入難易感

・借入難易感D. I. は、05年10~12月期以来のプラスとなり、0.4となった。

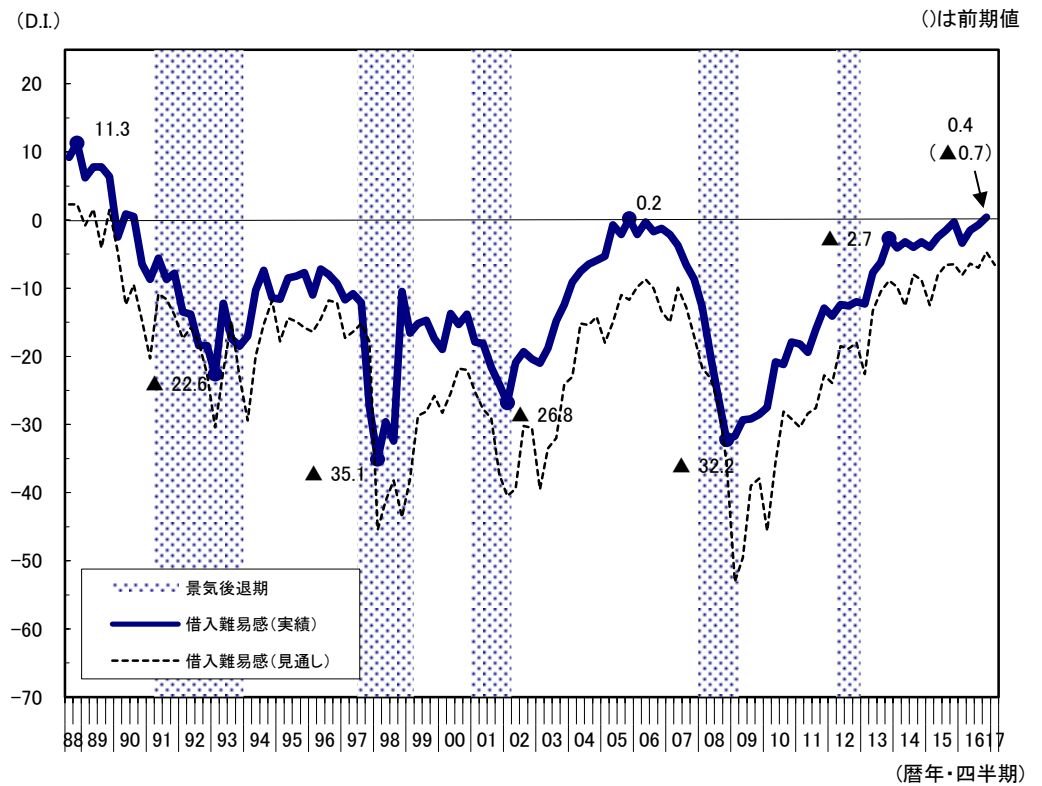
		2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12	2017/1-3
借入難易感D.I.	実績	▲ 0.3	▲ 3.4	▲ 1.5	▲ 0.7	0.4	
	見通し	▲ 6.5	▲ 8.1	▲ 6.4	▲ 7.0	▲ 4.7	▲ 6.6

(注) 前期比。借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

資金繰りD. I. (季節調整値)の推移



借入難易感D. I. の推移



(3) 借入れ状況

・今期(16年10~12月)に借入を実施した企業の割合は、横ばい。
従業員規模別にみると、「21人以上」の企業層が増加した。

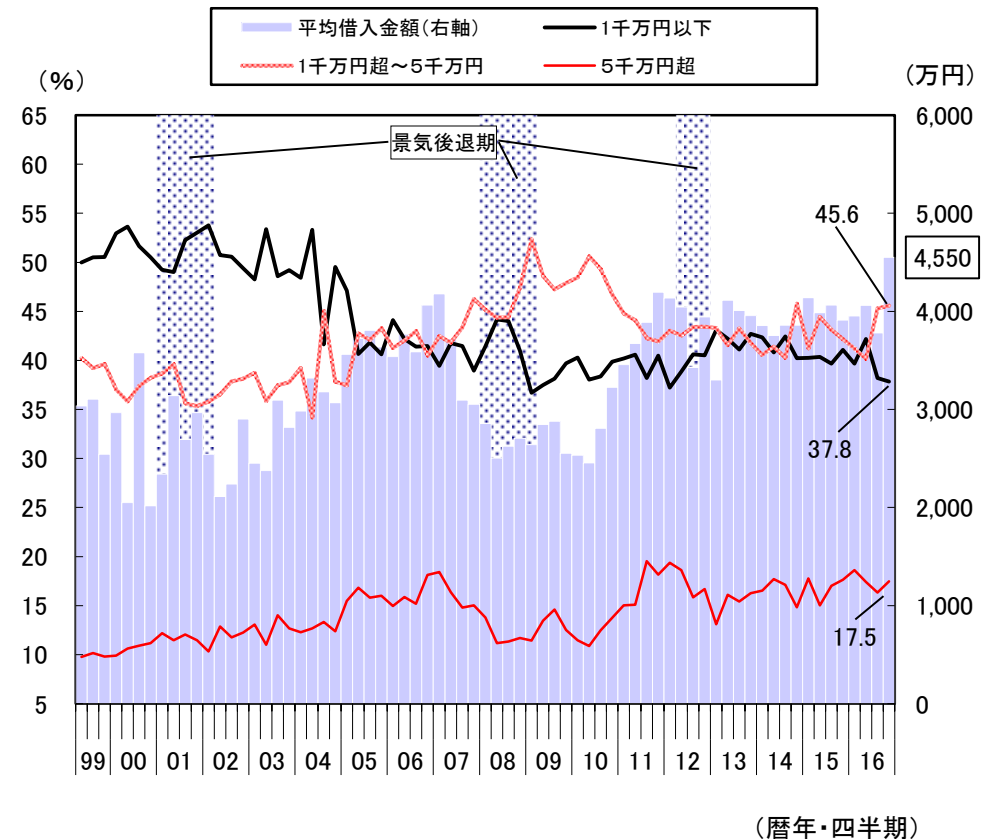
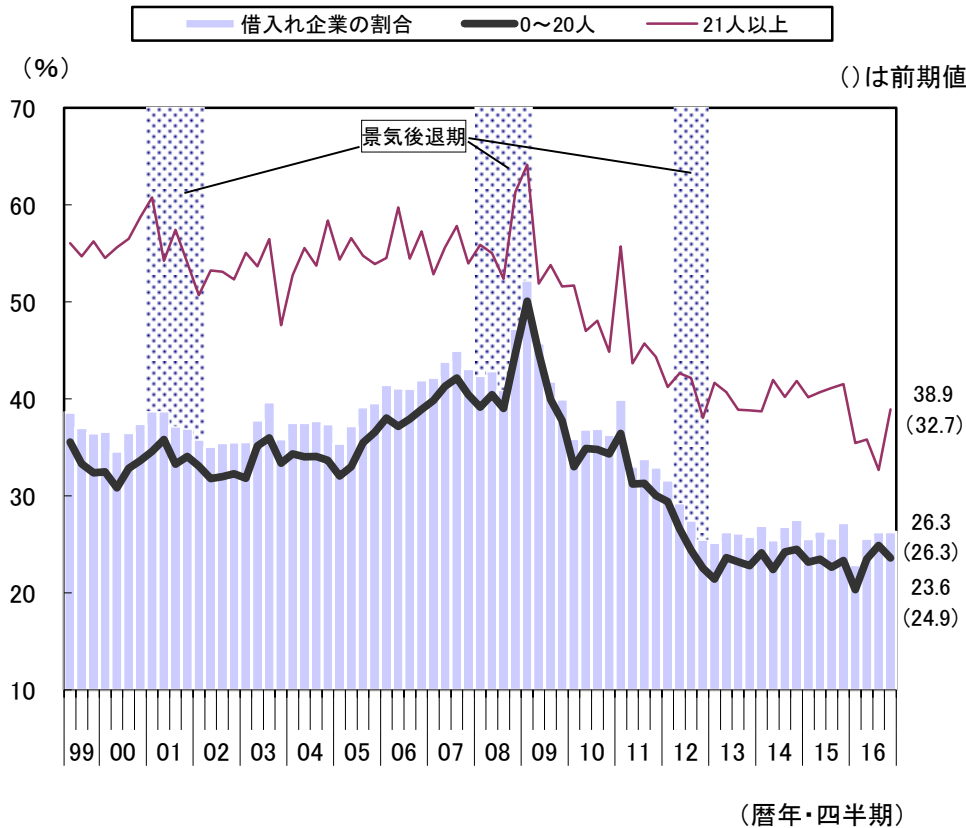
・一社あたりの借入金額別構成比は、「5千万円超」がやや増加した。

① 借入を実施した企業の割合(季節調整値)

	2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12
借入れ企業の割合	27.2	22.9	25.6	26.3	26.3
0-20人	23.4	20.4	23.5	24.9	23.6
21人以上	41.5	35.5	35.8	32.7	38.9

② 一社あたりの借入金額別構成比(季節調整値)

	2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12
1千万円以下	41.1	39.7	42.2	38.2	37.8
1千万円超~5千万円	42.2	41.2	40.2	45.3	45.6
5千万円超	17.6	18.6	17.4	16.3	17.5

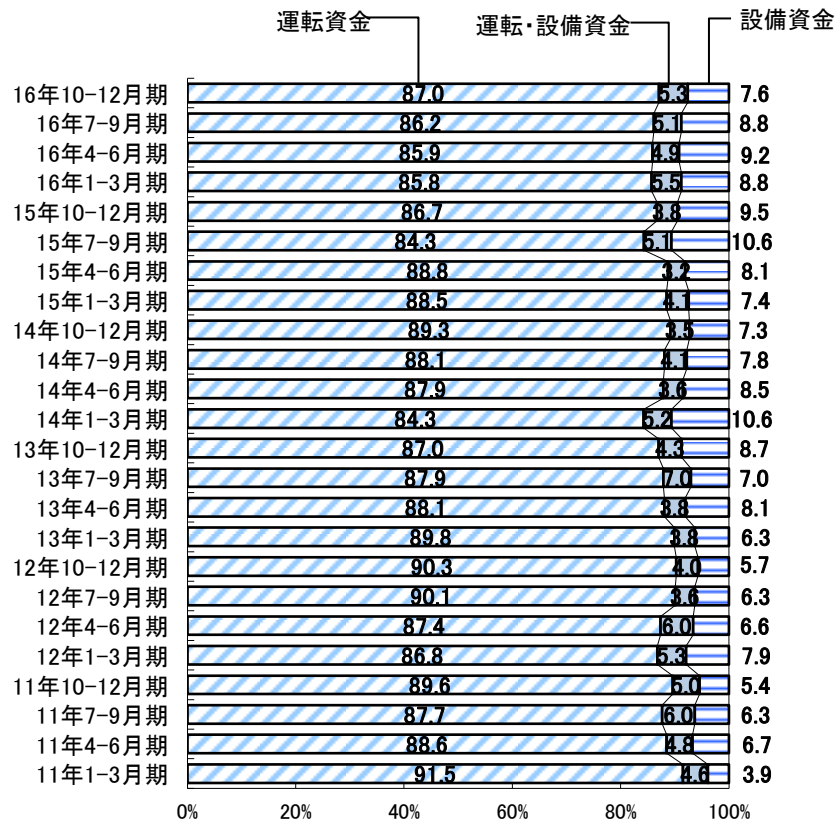


(注)「借入」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計したものである。

・資金使途については、運転資金は横ばい。

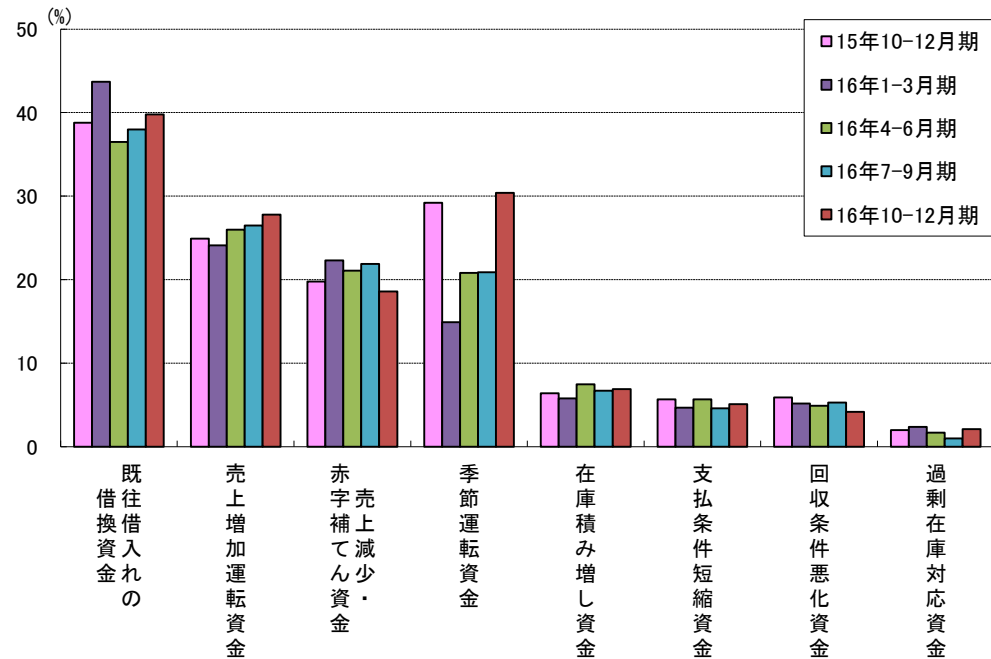
設備資金については、やや減少したものの、13年4～6月期以降は7%超で推移しており、引き続き高い水準となっている。

③-1 資金使途の構成



③-2 運転資金の内訳

(原数値)	既往借入れの借換資金	売上増加運転資金	売上減少・赤字補てん資金	季節運転資金	在庫積み増し資金	支払条件短縮資金	回収条件悪化資金	過剰在庫対応資金
16年	10-12月期	39.8	27.8	18.6	30.4	6.9	5.1	4.2
	7-9月期	38.0	26.5	21.9	20.9	6.7	4.6	5.3
	4-6月期	36.5	26.0	21.1	20.8	7.5	5.7	4.9
	1-3月期	43.7	24.1	22.3	14.9	5.8	4.7	5.2
15年	10-12月期	38.8	24.9	19.8	29.2	6.4	5.7	5.9



(注) 1.複数回答のため、合計は100を超える。

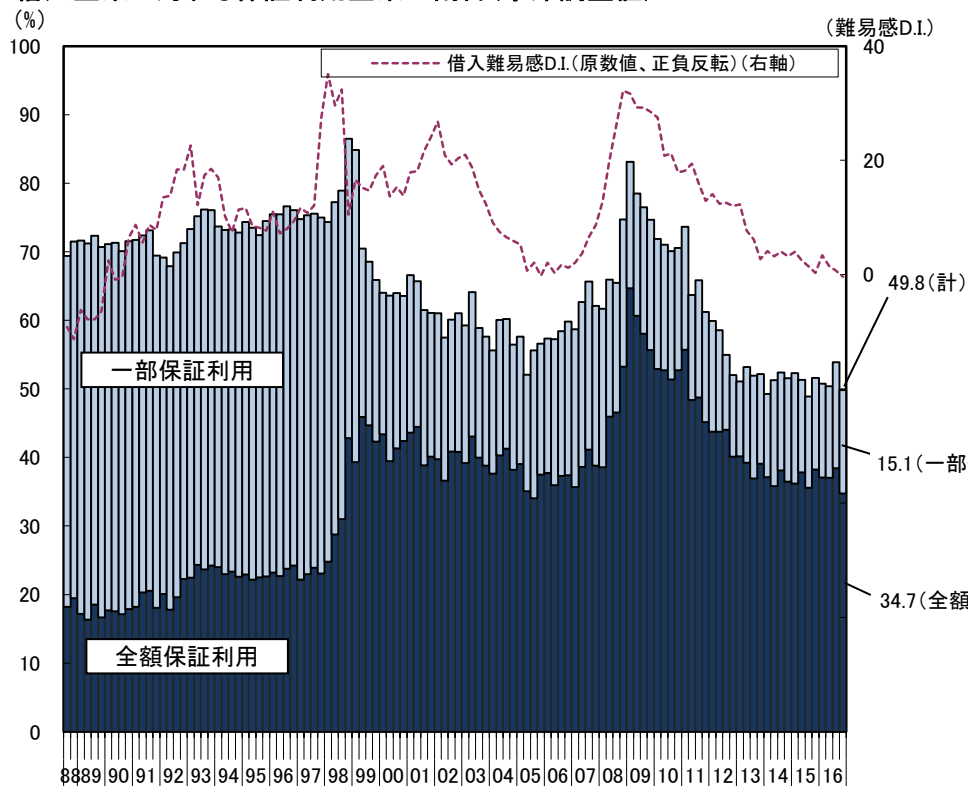
2.「資金使途」は、信用保証を利用した借入と信用保証を利用していない借入を合計した借入金に係るものである。

(4) - 1 保証利用状況

・今期に借入を実施した企業のうち、保証を利用した企業の割合は、やや減少し、5期ぶりに50%を下回った。

	2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12
保証利用企業の割合	51.6	50.8	50.4	53.9	49.8
全額利用	38.2	37.1	37.0	38.4	34.7
一部利用	13.4	13.7	13.3	15.4	15.1
プロパーのみ利用企業の割合	48.4	49.2	49.6	46.1	50.2

借入企業に対する保証利用企業の割合(季節調整値)



(暦年・四半期)

(4) - 2 金融機関からの保証利用要請

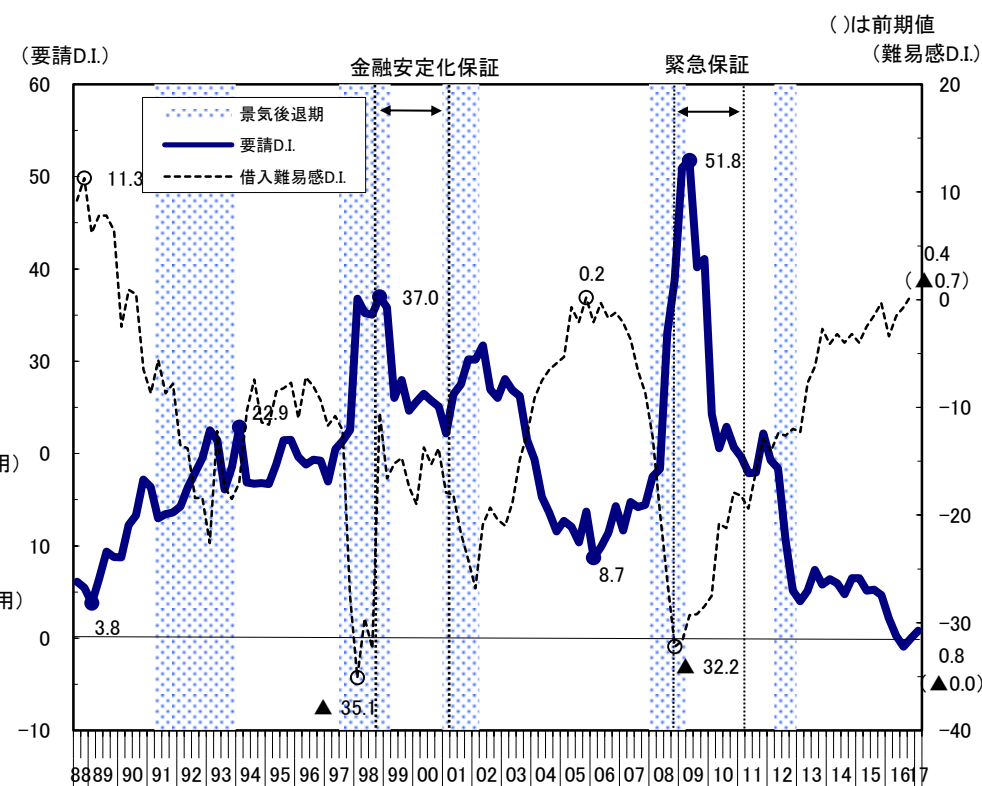
・来期(17年1~3月期)における保証利用要請D. I. は、横ばい。マイナスであった前期と同水準。

	2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12	2017/1-3
要請D.I. 見通し	4.7	2.2	0.2	▲0.9	▲0.0	0.8
借入難易感D.I. 実績	▲0.3	▲3.4	▲1.5	▲0.7	0.4	

(注) 1.前期比。要請D.I.は、「強くなると思う」企業の割合-「弱くなると思う」企業の割合。季節調整値。

2.借入難易感D.I.は、「容易」企業の割合-「困難」企業の割合。原数値。

金融機関からの要請D. I. (季節調整値)及び借入難易感D. I. の推移



(暦年・四半期)

(5) 生産・売上げ

・生産・売上げD.I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲9.5となった。

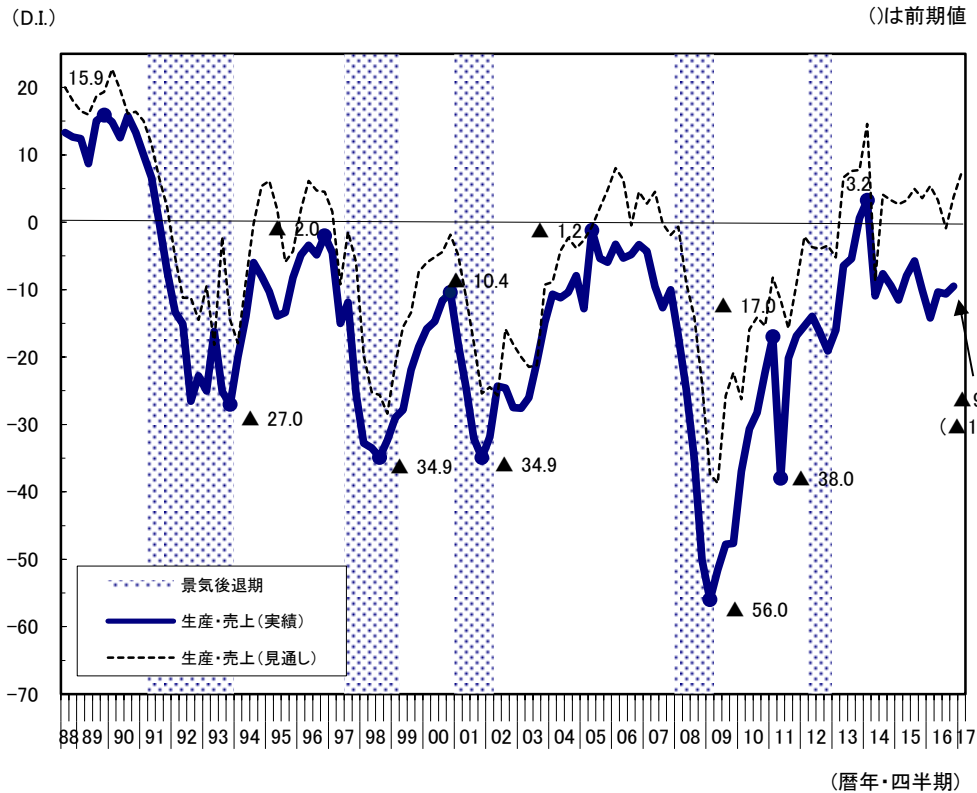
		2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12	2017/1-3
生産・売上げD.I.	実績	▲10.1	▲14.2	▲10.4	▲10.7	▲9.5	
	見通し	3.6	5.4	3.3	▲0.9	3.7	7.4

(注) 前期比。生産・売上げD.I.は、「増加」企業の割合-「減少」企業の割合。季節調整値。

生産・売上げ（業種別）

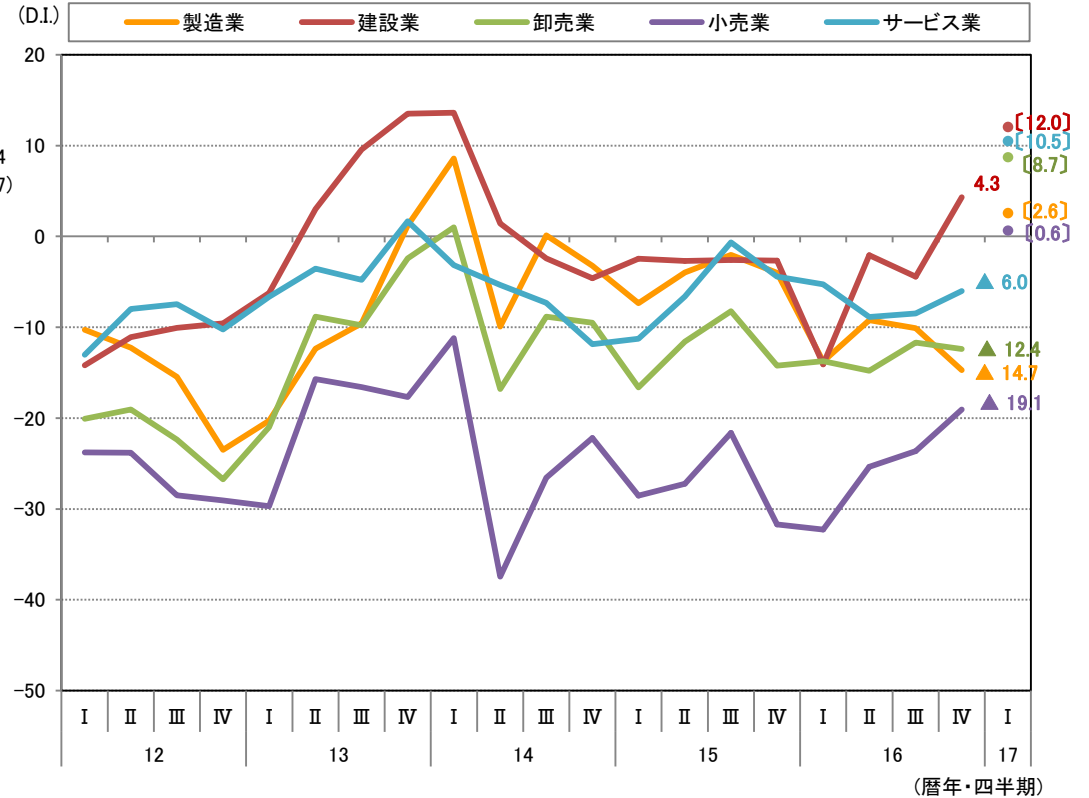
・生産・売上げD.I.(業種別)は、建設業がプラスに転じ、小売業、サービス業でマイナス幅がやや縮小。一方で、製造業ではマイナス幅がやや拡大した。

生産・売上げD.I. (季節調整値)の推移



業種別生産・売上げD.I. (季節調整値)の推移

()は来期見通し(当期比)

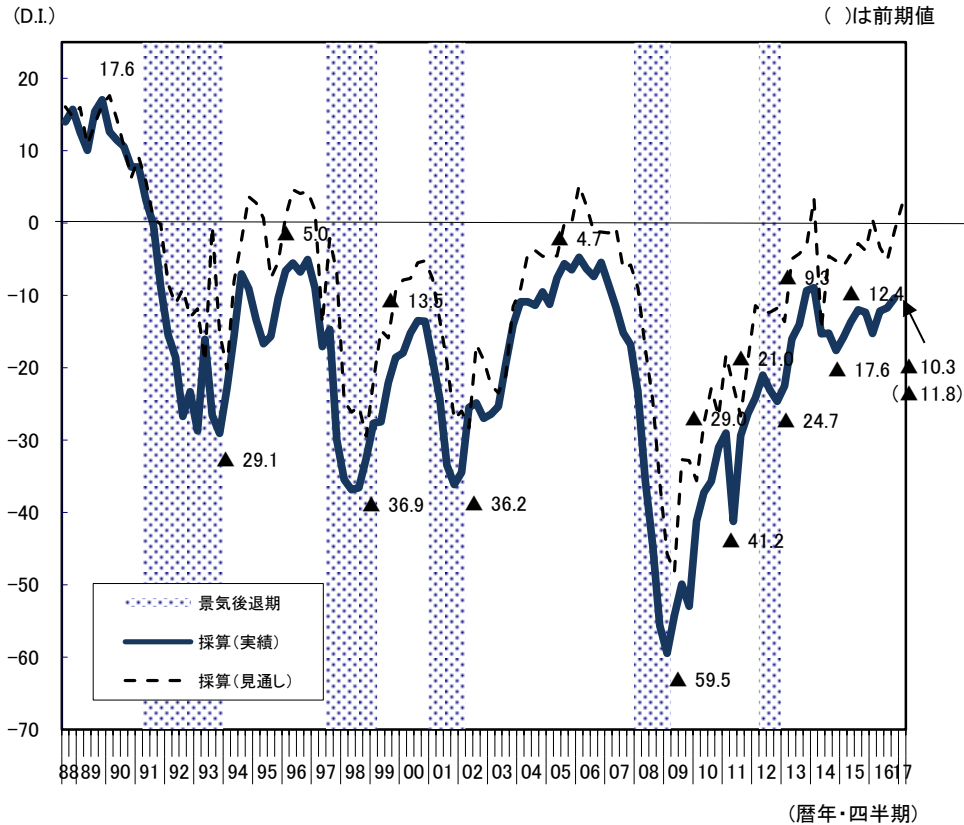


(6) 収益

・採算D.I. は、マイナス幅がやや縮小し、▲10.3となった。

		2015/10-12	2016/1-3	4-6	7-9	10-12	2017/1-3
採算D.I.	実績	▲12.4	▲15.3	▲12.2	▲11.8	▲10.3	
	見通し	▲3.8	0.5	▲3.4	▲5.1	▲1.0	2.5

(注) 前期比。採算D.I.は、「好転」企業の割合-「悪化」企業の割合。季節調整値。



(参考) 保証利用割合

- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合については、「半分以上」が60%強となった。
- ・前年同期末と比べた信用保証利用の割合の増減については、「減少した」が約40%となった。
- ・借入総残高に占める信用保証利用の割合が少ないほど、前年同期末と比べて信用保証利用の割合が減少する企業が多くなる傾向。

